

森田委員持込資料

平成25年9月13日
海洋モニタリングに関する検討会資料

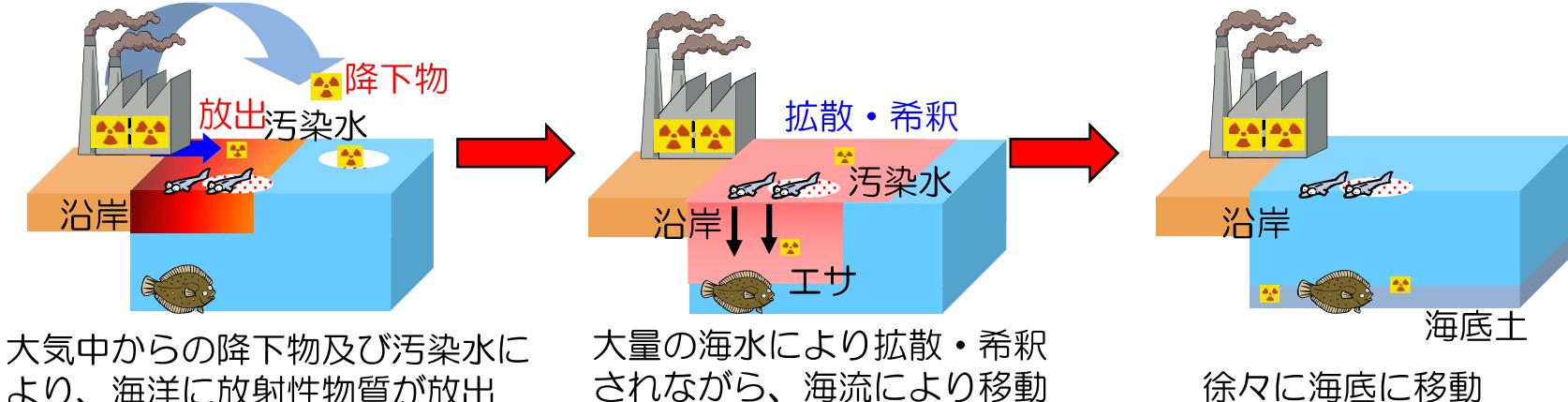
水産物の放射性物質調査について

平成25年9月
水産庁

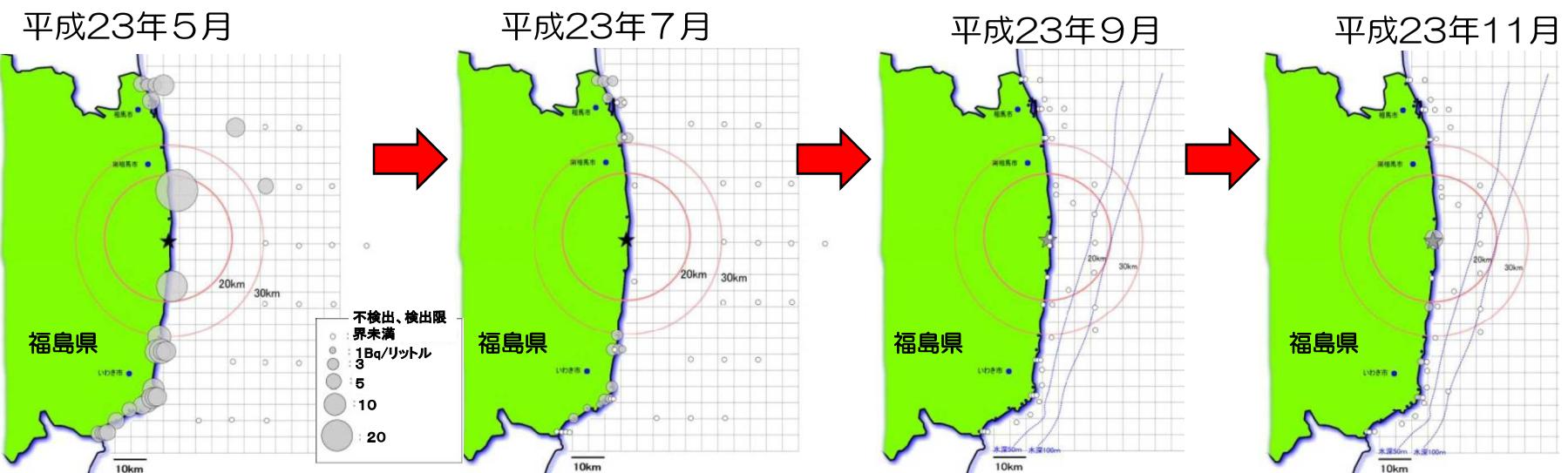
2 水産物と放射性セシウム（海面）①

- 放射性セシウムは、大量の海水により拡散・希釈されながら、徐々に海底に移動。

福島第一原子力発電所事故による汚染の進行過程（海面）



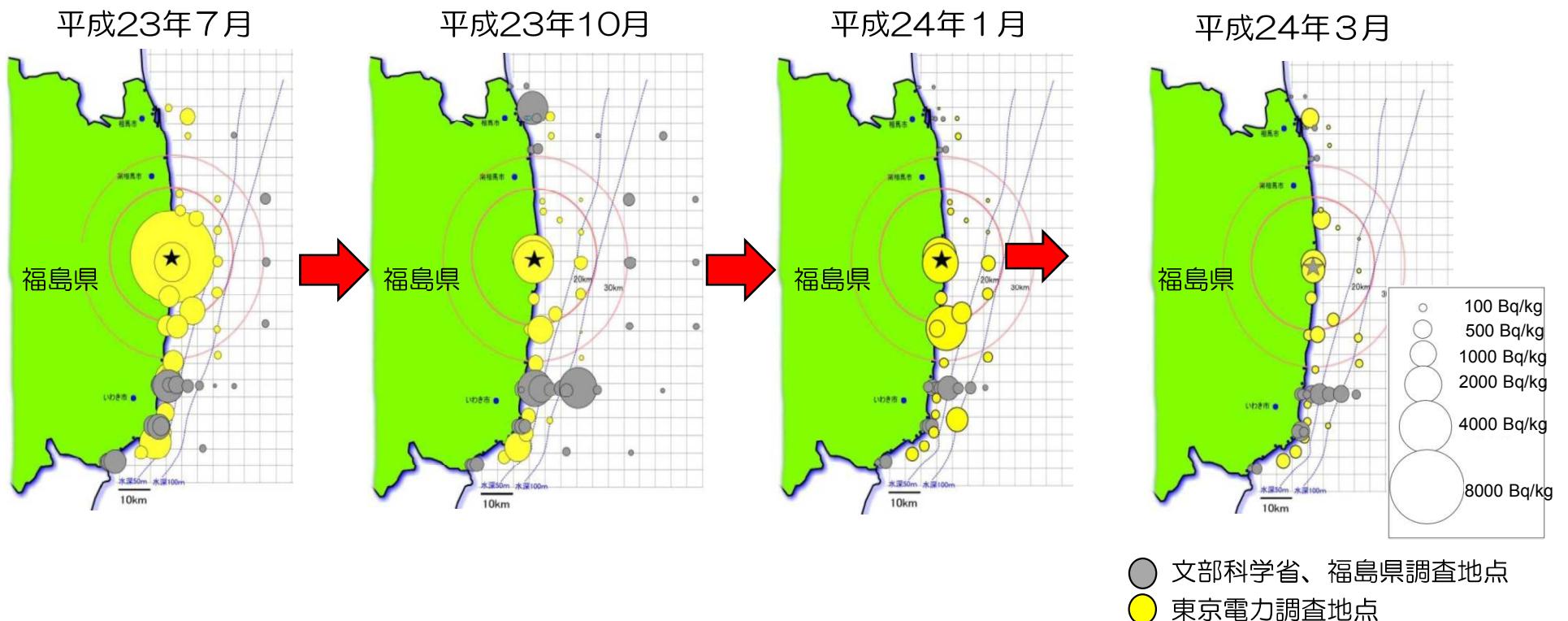
福島沖の海水中の放射性セシウムのモニタリング結果（福島県水試HPより）



2 水産物と放射性セシウム（海面）②

- 海底土にある放射性セシウムは、徐々に拡散し、福島沖では低下傾向。
- カレイやヒラメ等の底魚では、現在でも基準値（100 Bq/kg）を上回る値を示す魚種が存在するため、底魚について、広い範囲で調査が必要。
- 海底付近での放射性セシウムの魚への移行について調査研究を実施。

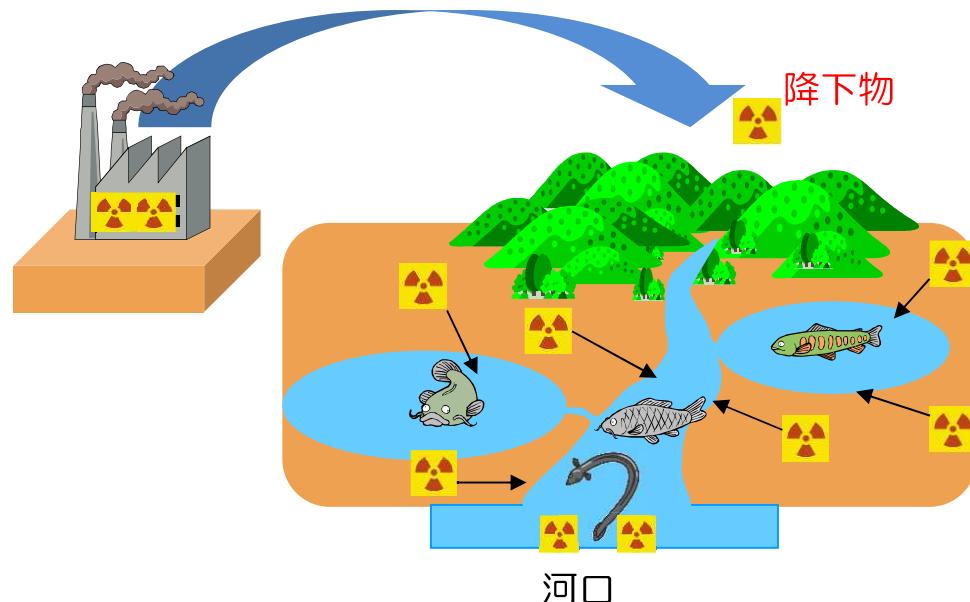
福島沖の海底土の放射性セシウムのモニタリング結果（福島県水試HPより）



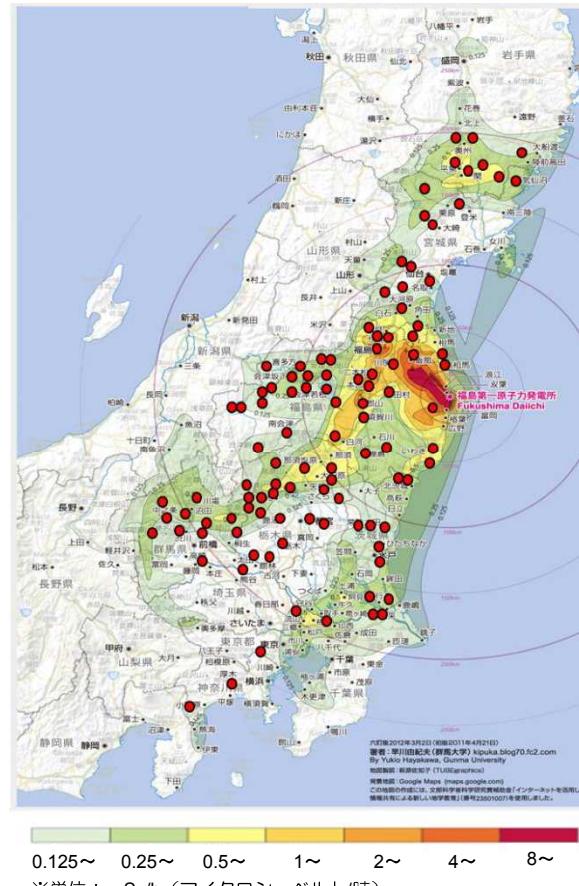
2 水産物と放射性セシウム（内水面）③

- 雨や雪解け水により、河川・湖沼に徐々に移動。最終的には海へ流れ込むか、湖底に移動。
- 陸上の放射線量との関係を考慮して、放射線量の高い地域、その下流域での調査が必要。

(1) 福島第一原子力発電所事故による汚染の進行過程（内水面）

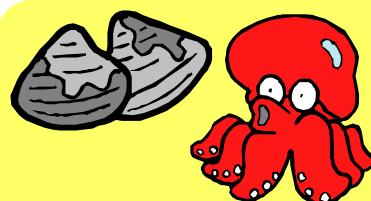
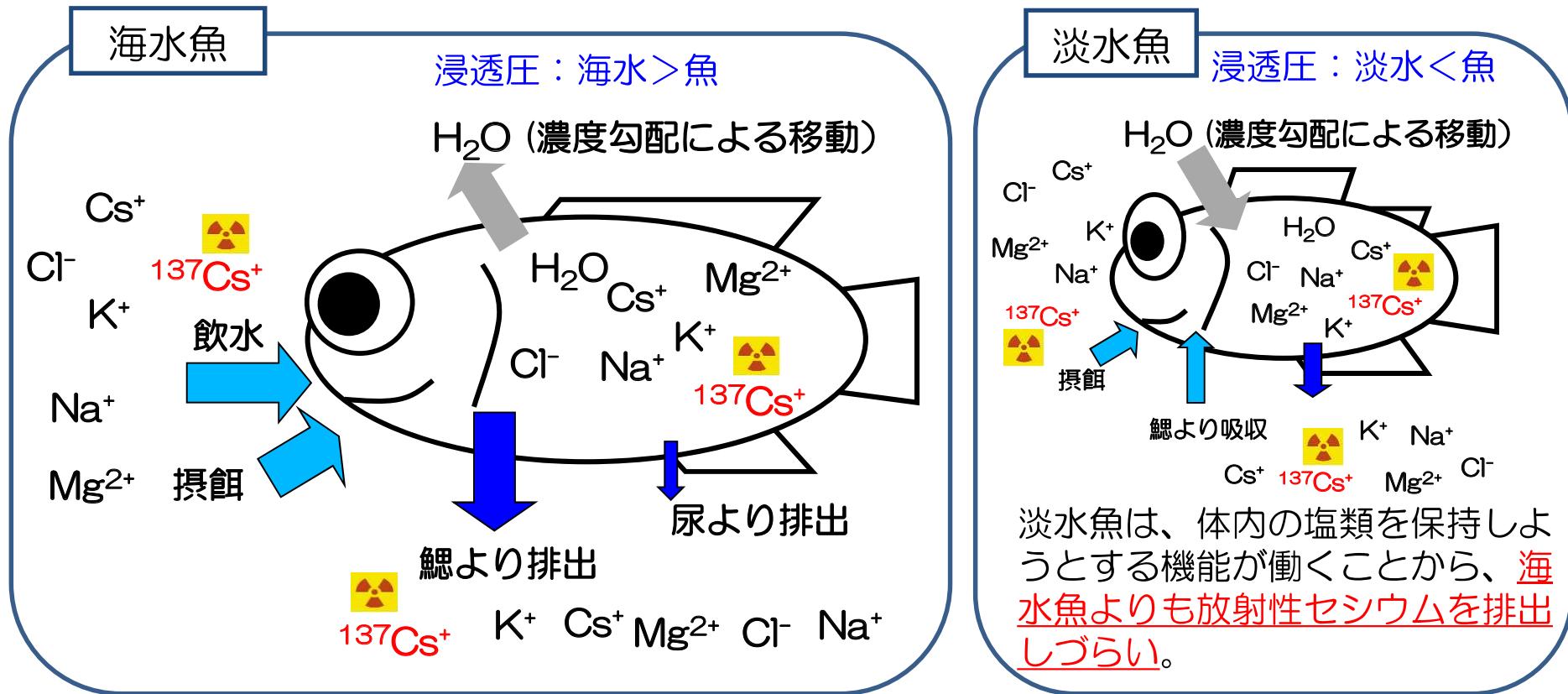


(2) 放射線量と淡水魚の汚染状況



2 水産物と放射性セシウム ④

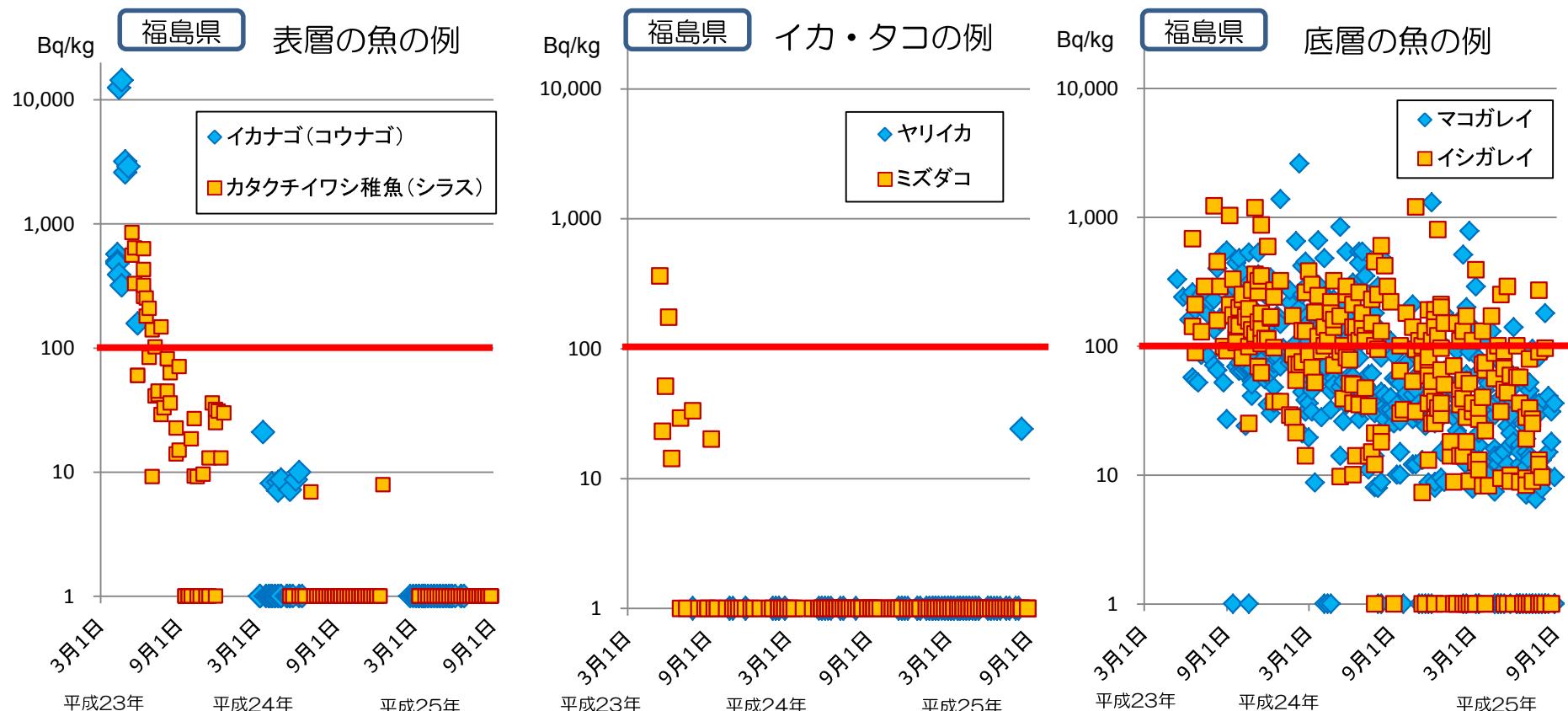
- 水産生物は、放射性セシウムをカリウムなどの他の塩類と区別できずに環境水（海水・淡水）や餌から体内に取り込み、自然に体外へ排出。
- 海水魚は、体の中の塩類を排出させる機能が働くことから、海水の放射性セシウム濃度が低下すれば、魚体中の放射性セシウム濃度も徐々に低下。



- 無脊椎動物は、塩類が海水と体の中を自由に行き来している様な状態なので、海水中の放射性セシウム濃度が低下すると直ぐに体内の放射性セシウム濃度が低下。

7 水産物の調査結果 ④

- 現在では、シラスやコウナゴ等の表層の魚、カツオ・マグロ類、シロザケ、サンマといった回遊魚、イカ・タコ類、エビ・カニ類、貝類や海藻類等については、全ての都道府県で基準値以下。一部のカレイ・ヒラメ類やマダラ等の底魚を中心として、現在でもいくつかの海域において基準値を上回る魚種が存在。
- 生息域の環境や食性等が品目毎の傾向に関係。



注：福島県沖では全ての沿岸漁業及び底びき網漁業で操業を自粛（ただし、ミズダコ、ヤナギダコ、スルメイカ、ヤリイカ、ケガニ、ズワイガニ、沖合性のツブ貝（シライトマキバイ、チヂミエゾボラ、エゾボラモドキ及びナガバイ）、キチジ、アオメエソ（メヒカリ）、ミギガレイ（ニクモチ）、ユメカサゴ、ヤナギムシガレイ及びコウナゴ（イカナゴの稚魚）を対象とした試験操業を除く。）

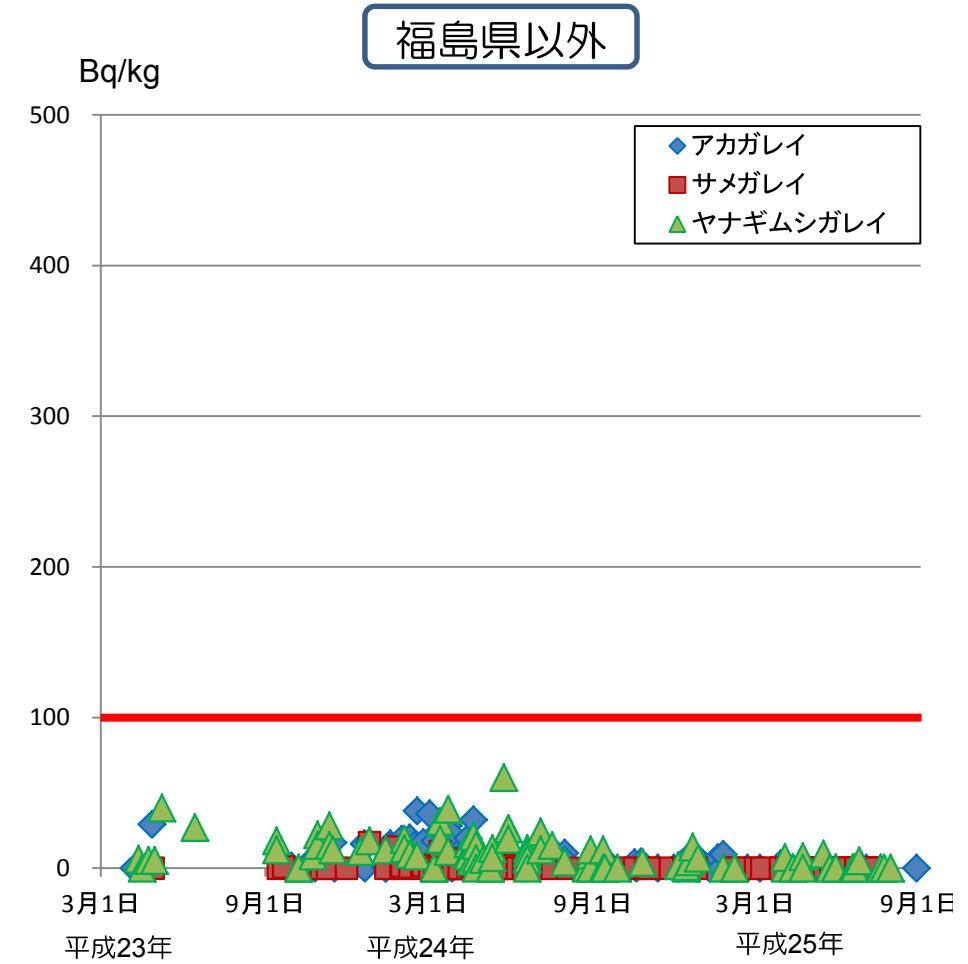
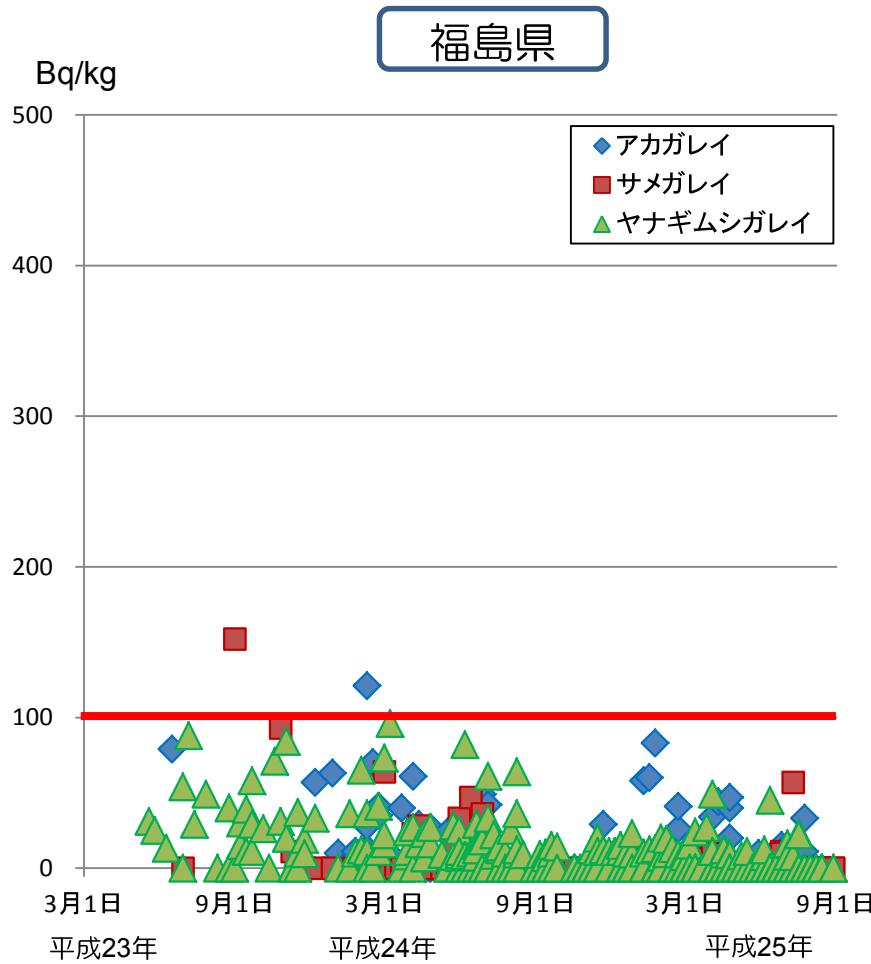
注：各都道府県の詳細な検査結果は、水産庁ホームページ（<http://www.jfa.maff.go.jp/j/housyanou/kekka.html>）を参照

8 種別の調査結果(8)

平成25年8月末日現在

【平成24年4月以降、基準値未満の種】

その他カレイ類（主な生息域が100m以深）【底層】



注：福島県沖では全ての沿岸漁業及び底びき網漁業で操業を自粛（ただし、ミズダコ、ヤナギダコ、スルメイカ、ヤリイカ、ケガニ、ズワイガニ、沖合性のツブ貝(シライトイマキバイ、チヂミエゾボラ、エゾボラモドキ及びナガバイ)、キチジ、アオメエソ(メヒカリ)、ミギガレイ(ニクモチ)、ユメカサゴ、ヤナギムシガレイ及びコウナゴ(イカナゴの稚魚)を対象とした試験操業を除く。）

注：基準値を超過した種における出荷制限や操業自粛等の状況については「9 出荷制限や操業自粛等の状況」を参照

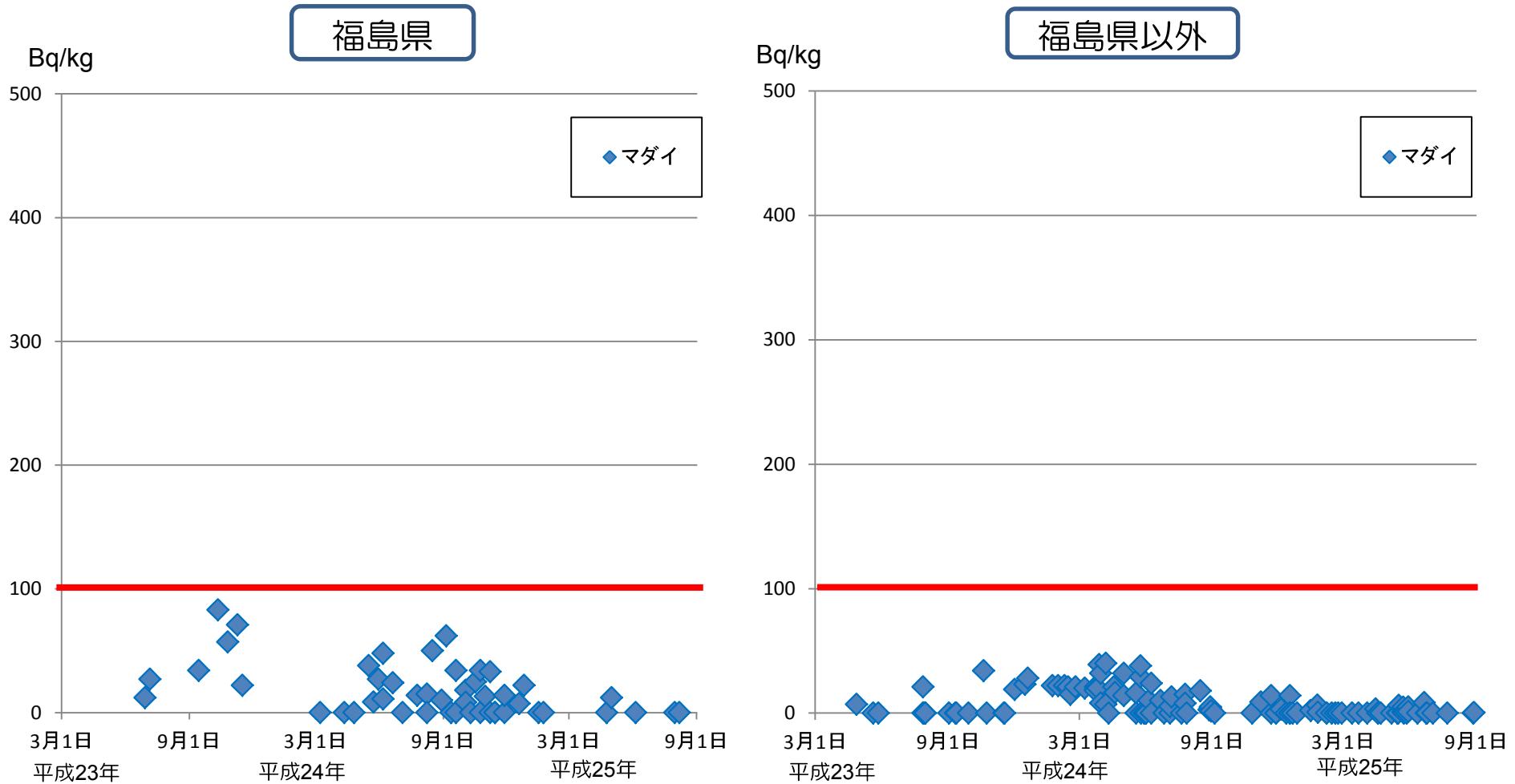
注：各都道府県の詳細な検査結果は、水産庁ホームページ (<http://www.jfa.maff.go.jp/j/housyanou/kekka.html>) を参照

8 種別の調査結果(9)

平成25年8月末日現在

【平成24年4月以降、基準値未満の種】

マダイ 【底層】



注：福島県沖では全ての沿岸漁業及び底びき網漁業で操業を自粛（ただし、ミズダコ、ヤナギダコ、スルメイカ、ヤリイカ、ケガニ、ズワイガニ、沖合性のツブ貝（シライトイマキバイ、チヂミエゾボラ、エゾボラモドキ及びナガバイ）、キチジ、アオメエソ（メヒカリ）、ミギガレイ（ニクモチ）、ユメカサゴ、ヤナギムシガレイ及びコウナゴ（イカナゴの稚魚）を対象とした試験操業を除く。）

注：基準値を超過した種における出荷制限や操業自粛等の状況については「9 出荷制限や操業自粛等の状況」を参照

注：各都道府県の詳細な検査結果は、水産庁ホームページ (<http://www.jfa.maff.go.jp/j/housyanou/kekka.html>) を参照